

みんなで取り組む はな🌸とみどり🌿のまちづくり

1
いままで



吹田市が“みどり豊かな住み続けたい街”であり続けるために。

吹田市花とみどりの情報センター『はなみど』は、“うちのみどり、まちのみどり”の活動をもとに、市民参画・協働による“花とみどりのまちづくり”に取り組んできました。

“うちのみどり”の取り組みでは、園芸相談や花とみどりのあるライフスタイルの提案を行い、

“まちのみどり”の取り組みでは、持続可能なみどりのまちづくりを実現するために、セミナー・シンポジウムの開催等を通じて公民連携での取り組みの形を市民の皆様とともに探ってきました。

ここでは、これまでにみなさまと一緒に取り組んだ“うちのみどり、まちのみどり”の活動の一部をご紹介します。

うちのみどりの取り組み



- 暮らしに寄り添う花とみどりの楽しみ方提案
- 誰もが参加しやすい、園芸講習会の実施
- “うちのみどり”を気軽に相談できる園芸相談
- 学校、公共施設などに出張園芸サポート

まちのみどりの取り組み



- 市民と一緒にまちのみどりを守り育てる仕組みづくりの提案
- みどりの拠点「公園」をもっと活用するためのサポート
- イベントやセミナー等による“みどりのまちづくり”の普及

うちのみどりの活動

はなみどの役割

暮らしを彩るうちのみどりのアドバイザー

身近な花やみどりを大切にすることが、まちのみどりを思う気持ちにつながる。『はなみど』では、市民が気軽に参加できる講習会や園芸相談を実施し、みどりの知識を深められる機会を設けています。イベントやワークショップは楽しみながらみどりについて学べるのが魅力です。



はなみどガーデンセミナー

季節のお手入れを中心に、プロのガーデナーから園芸の技術を教わることができます。

園芸相談

植物の名前を知りたいといった質問や、植物を植える土の種類や水やりの頻度など、“うちのみどり”に関するご相談にお答えします。



市民講習会

市民が講師になり、押し花教室やフラワーアレンジメントなど、花とみどりに関するさまざまな講習会を実施しています。

はなみど講習会

季節の寄せ植え講習や、野菜やランの育て方など、ご家庭で楽しめる園芸やガーデニングを楽しく学べます。



イベントの開催

花やみどりの魅力を伝えるマルシェやワークショップを開催。公園や広場などまちのみどりの空間を楽しく演出します。

出張講習

地域や学校花壇など、公共空間で活躍するボランティアの技術支援を行っています。花壇づくりの基本からサポートします。



土ほかし

イベント時に使用済みの園芸用土を有料回収を行い、ご家庭での園芸の普及に努めています。



いままで

2

まちのみどりのプロジェクト



3

い
ま
ま
で



花と緑のフェア

花とみどりのある暮らしや、公園の楽しいつかい方を提案するイベント「花と緑のフェア」を毎年11月に開催しています。園芸ワークショップや公園ならではのアクティビティを体験してもらうことで、すいたのみどりを好きになってもらうきっかけにつなげたいという思いで取り組んでいます。大人も子ども、フェアに参加されたみなさまに、公園の新たな使い方や過ごし方、まちのみどりの空間のすばらしさを発見していただくイベントとして親しまれています。



すいた公園『つかう』プロジェクト

市民からの「公園でやってみたい」たくさんのアイデアを実現するために、使い方のアドバイスや申請サポートを行なっています。市内で人気の手作りイベント「吹田山田手作り市」は『はなみど』が公園を使用するためのサポートをしたイベントの一つです。神社の参道からはじまった手作り市は、隣接した公園も会場とすることで新たな賑わいが生まれ、さらに魅力的なイベントとなりました。



すいたまちの木プロジェクト

持続可能なみどりのまちづくりに向けて、市民協働で調査研究、実施を行う「すいたまちの木プロジェクト」がスタート。『はなみど』では大阪産業大学が調査した吹田市の街路樹の評価分析を情報発信するほか、樹木の状態を見るポイントなどを学ぶ「公園・街路の樹木みまもり講座」や、公園を歩きながら樹木を観察する「すいたの樹木ガイド」など、公民連携で取り組みを実施しています。

どんな人がどんなところで活動しているの？

🌸 UR 千里青山台団地「みんなの庭」



千里青山台団地では、住民のみなさんが屋外空間を使って、交流のきっかけとなる庭をつくっていきこうと「みんなの庭プロジェクト」を現在進行しています。団地への愛着とコミュニティの輪が育まれることを願い、建築家・伊東豊雄さんとUR 都市機構が立ち上げました。『はなみど』は2016年8月より花壇づくりのアドバイザーとしてお手伝いしています。これまでに「ハーブの庭」「なでしこの庭」「しあわせの庭」など、それぞれに素敵な名前の付いた22面のかわいいお庭が完成しています。

🌸 もりねっこまつり

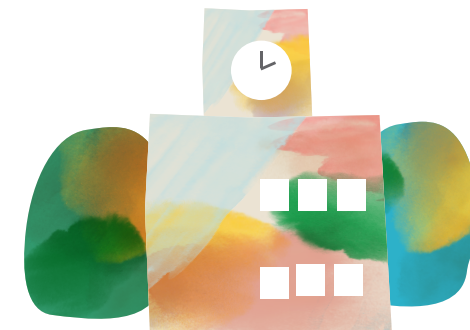


森で過ごす魅力を、実際に緑や風を感じながらお伝えする場をつくりたいという思いから、千里北公園をフィールドとして活動中の森のようちえん「もりねっこ」がお祭りを開催。こどもたちによるやきいもコーナーやママの得意を活かした手作り品、足もみや数秘鑑定などの癒しコーナー、もりねっこ楽団の小さな森の音楽会など、お楽しみ満載の内容は大盛況！公園の一角が、こどもたちの笑顔とともに、ママたちのキラリを表現するゆるやかでやさしい場になりました。

🌸 関西大学住環境デザイン研究室 カフェ・オ・カフェ



“公園にくらすまち、千里”をコンセプトに、市民が参加できるパークマネジメントを検討するため、関西大学と共同研究を行なっています。その一環として、千里南公園でコーヒースタンドやレンタルツール、ヒアリング調査を実施。コーヒーを飲みながら、どのような公園を望んでいるのか、どうなれば公園で良い風景が生まれるのか、市民の方の声に耳を傾け、その声をカタチにできるよう調査・研究を続けています。



い
ま
ま
で
4

“みどりのまちづくり”って どうしたら参加できるの？

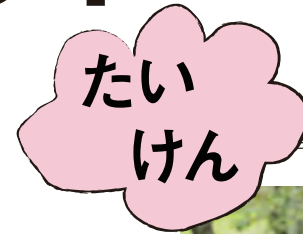


い
ま
ま
で
5

“うちのみどり”を育ててみよう

みなさまのおうちのお庭やベランダで、花やみどりを育てることも“みどりのまちづくり”の活動です。一番身近にある“うちのみどり”を大切に作る心が“まちのみどり”を思う気持ちにつながります。園芸をやった

ことがない、すぐ枯らしちゃう…といった方は『はなみど』で開催する園芸講習会やワークショップにご参加ください！植物の基本から応用まで楽しく学べます。



フェアやイベントで体験しよう



公園で開催するフェアやイベントに参加することも、“みどりのまちづくり”につながります。いつもの公園で、いつもと違った使い方を体験することで、「私もこんなことやってみたい!」というアイデアが生まれたら『はなみど』にご相談ください。みなさまの公園で「やってみたい」ことの実現に向けて「公園のつかい方」や申請手続きなどをサポートいたします。

まちの樹木を観察してみよう

身近なまちのみどりについて考え、愛着を持っていただくための「すいたの樹木ガイド」や、樹木医から樹木の状態を診るポイントを学ぶ「公園・街路樹の見守り講座」を開催しています。市内のまちのみどりのスポットで、実際に見て・触れて・学ぶことで、知識が深まるとともに、愛着も深まります。ほんの少し、見かたを変えるだけで、まちの樹木の発する“サイン”が見て取れるようになるかもしれません。

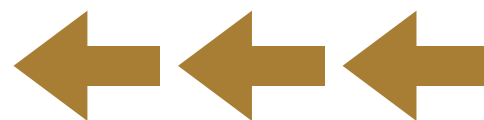


シンポジウムやセミナーに参加しよう



公園の新しいつかい方や、街の樹木の適正管理の在り方などをテーマにセミナーやシンポジウムを開催しています。全国で活躍する専門家から“まちのみどり”の様々な取り組みを紹介していただき、会場内のみなさまと一緒に、すいたの“みどりのまちづくり”のかたちについて考えました。“みどりのまちづくり”のかたちは様々です。みなさまもできること、やってみたいことから始めてみませんか？

“これから” 取り組む 持続可能なみどりのまちづくり



6

これ
から

『はなみど』は市民の皆様とともに、公民連携による“みんなで取り組む、花とみどりのまちづくり”のかたちを探ってきました。今までの取り組みから得た経験を活かし、これからも、市民のみなさまとともに、“持続可能なみどりのまちづくり”に、より一層取り組んでまいります。

🌸 “まちのみどり” への愛着を育む 「すいた街の木プロジェクト」



すいた街のみどりを知り、愛着を育む「すいた街の木プロジェクト」「すいたの樹木ガイド」「公園・街路樹のみまもり講座」の活動を、市民の皆様にもっと楽しみながら取り組んでいただける内容として展開していきます。

🌸 多様で快適な「新しい公園のつかい方」の実践・検証



「新しい生活様式」を取り入れたマーケットやイベントによる実証実験を行い「新しい日常」に寄り添った、多様で快適な公園のつかい方を検証します。また、専門家を招いてのセミナーの開催や SNS を活用し、新しい情報を発信・共有します。

🌸 地域で広がる、花とみどりのまちづくり グリーンコミュニティ形成をサポート



花とみどりの知識を実践で学び・親しむ「はなみどガーデンセミナー」。これからも市内各所で開催。団地の共有スペースや、地域の公園の片隅から美しい景観とともに、人と人とのつながりが生まれる、グリーンコミュニティ形成を支援します。

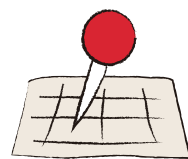


これからはじまるプロジェクト



これから

すいたまちの木マップの作成



街の木と街の魅力を「見える化」



吹田市の樹木健全度調査を用いて、街路樹の生態系サービスを貨幣価値推定し、可視化する研究に取り組んでいます。これは今後の街路樹の維持管理の方策にも役立つ可能性がある新しい研究です。現在、研究結果から得た樹木の情報をわかりやすく「見える化=マップ化」する方法を検討しています。すいたの街の木の情報を街全体の魅力とともに伝え、より多くの人に、愛着を持ってもらえるきっかけにつながることを目指します。

新しい公園のつかい方の実証実験

新しい生活様式の公園のつかい方とは？

「新しい生活様式」における、多様で快適な公園のつかい方について検証する実証実験を行います。定期的なマーケット開催やアンケート調査を実施し、効果を検証します。また、『公園のつかい方』のプロによるセミナーを実施。新しい日常の中での公園のつかいこなし方を学び、公園を「使いたい」プレイヤーと情報共有します。

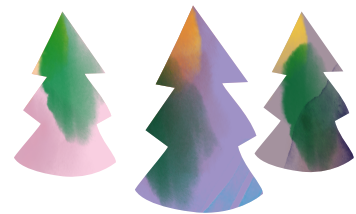


new style



これから始まる地域の活動

津雲の森を未来に残す 森の子教室



8
これから



花壇ボランティア “La La Land の会”

千里青山台団地の中にある「くちなし公園」を明るく素敵にしようと、花壇ボランティア“La La Land の会”が発足しました!まずは、公園入口の公園銘板前と、道路沿いにあるベンチ前を花壇にすることに。公園銘板前はカッチカチの砂利まじりの土で、耕すだけでも一苦勞。そこに、腐葉土や有機石灰を混ぜてふかふかにして、苗を配置。どこにどの種類を植えるか、悩ましいけれど、楽しい作業です。葉ボタンの紫色が映える見事なエントランス花壇が完成し、無機質だった公園がぱっと明るくなりました。今後も地域の人たちが明るい気持ちになる花壇づくりに取り組む、La La Land の会の活躍にご期待ください。

みどりが多く、様々な趣の公園が点在する千里ニュータウン地域。その中にある「津雲公園」には開発前の山肌を残した里山のような小さな森があります。森の子教室は、この森をフィールドにした小さな手づくりのようちえんです。子どもたちが木登りを楽しめる立派な木がたくさんあった森が、環境の変化で山肌は削れ、カシナガキクイムシに侵食された木が増え、年々景色が変わってきています。森は子どもたちのあそびや創造を膨らませ、心と心のつながりを大切にしたい体験を積み重ねる最適な場所。ささやかで貴重な森を守り、未来に残すために活動中です。



すいたの

まちのみどりの仕事人



9

しょうかい

『はなみど』の活動にご協力いただいている、吹田市内で“まちのみどり”の活動をしている事業者さんをちょっとご紹介！

『土』という資源に、もっとエコを。

株式会社 さんのしょうてん 三野商店

🌸 『土ほかし』～土のリサイクル



ご家庭で不要になった土

“土ほかし”にて回収



改良土として再資源化
みんなのまちへ！
※改良土は水道工事などの埋め戻しに使用されます。



自社プラントにてふるい分けなどして再生
※一部手作業！

『はなみど』のイベントで一番人気の『土ほかし』コーナーをご存じですか？

家庭菜園や枯らしてしまった植木鉢の土など、不要になってしまった土は、吹田市ではゴミとして出すことができないため、扱いにお困りの方が多くいらっしゃいました。そこで、イベント時のみですが、不要土の有料回収サービス『土ほかし』コーナーが誕生しました！

ご協力いただいている、株式会社三野商店さんは、『土』という資源に、もっとエコを」という想いをもつ、とっても地球に優しい企業です！

ほかされた土を、自社の再資源化施設で、選別・ブレンドし、また使える改良土にリサイクルしています。

『土』はゴミじゃない。大切な『資源』だから。

繰り返し、大切にしたいですね。

これからも『土ほかし』は、持続可能な“うちのみどり、まちのみどり”の支援として取り組んでまいります。



まちのみどり(草)でみんなをつなぐ

のぐちせいめんじょ

野口製麺所

のれん

🌸 葛(クズ)をつかった暖簾づくり

JR 吹田駅前の中通り商店街にある、老舗のうどん屋さん野口製麺所の軒先には、味のある素敵な暖簾がかかっています。実はこの暖簾、市内でもおなじみの雑草、葛(クズ)からできているんです。材料は雑草でも「葛布」は高級素材です。日本三大古代布の一つ「葛布」をつくるのは、とてつもなく手間がかかります。葛を厳選して採取し、茹でて、穴に埋めて、掘り起こしてさらして、紡いで、繋げて…と途方もない工程を経てやっと繊維状になります。それを手作りの機織り機で地域の有志やお客さんと一緒に織り上げ、Made in 吹田の暖簾が完成しました。みんなの思いが織り込まれた暖簾は、手作りの温かみがあふれています。まちのみどり(草)で、地域をつなぐ、とっても素敵な取り組みですね。

まちのみんなで作った暖簾は、今日も店頭でお客さんを優しくお出迎えしています。





はなみどりのメッセージ

はなとみどりの情報センター



10

これから



「新しい生活様式」が定着しはじめた今、「日常」は大きく変わりました。

しかし、「うちのみどり、まちのみどり」は変わらず、心地のいい木かげや美しい彩りで、私たちに癒しや安らぎなどを与えてくれます。

これからも、すいたが「みどりあふれる豊かなまち」であり続けるために、私たち一人ひとりにできることは身近な生活のなかにたくさんあります。

「身近な公園をもっときれいにしたい」
「公園で、サステナブルな小さなマルシェをしたい」
「もっとまちの木を大切にしたい」

他にも、まちの木を意識して観察をすることや、小さなゴミを拾うことも、大きな一歩です。

みなさんも、「うちのみどり、まちのみどり」の取り組みを今日から始めてみませんか？

